

つつじ学園の紹介

活動内容

運動あそび(リズム、散歩、リトミック、トランポリン)

感触・感覚あそび(小麦粉粘土、ボールプール、新聞紙)

視聴覚あそび(紙芝居、ペープサート、パネルシアター)

視知覚あそび(追視のおもちゃ、型はめ、コイン入れ、シールはり)

お子さんの発達の様子に合わせ、楽しみながらも、成長、発達に必要な機能を育むための活動を行っています。

運動あそび

(トランポリン、リズム、散歩、リトミック)



さまざまな姿勢パターンやリズム、揺れ、動きを経験することができます。

感触・感覚遊び

(ボールプール、新聞紙遊び、小麦粉粘土)



全身で遊ぶことで、五感への刺激が促されます。
感覚的体験をたくさんすることは、聴く・見る・触るといった
行為から受け取る感覚の情報をまとめたり整理したりする脳の
働きである「感覚統合」の力を養うことにもつながります。

視聴覚あそび

(パネルシアター、ペープサート、紙芝居)



テレビなどの受け身的な集中とは異なり、お子さんと大人がやりとりをしながら進めていくことで、お子さんの自発的な反応を引き出します。

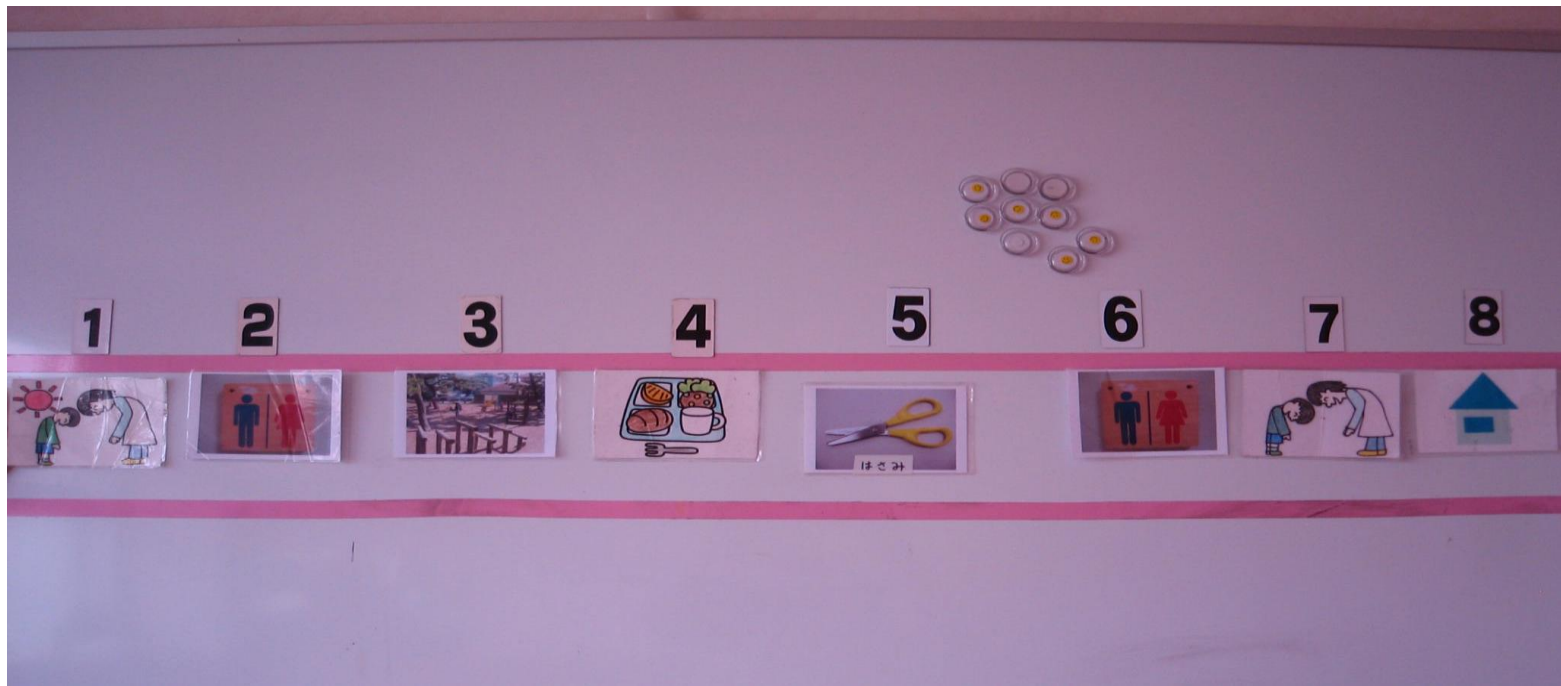
視知覚遊び

(追視の玩具、型はめ、コイン入れ、シール貼り)



道具の操作や身体模倣の基礎を育てることに繋がります。

スケジュール



一日のスケジュールを視覚的にわかりやすいように、写真カードやイラストでホワイトボード等に提示しています。

給食



この日のメニューは…
えのき入りつくねと青菜の煮びたしでした。

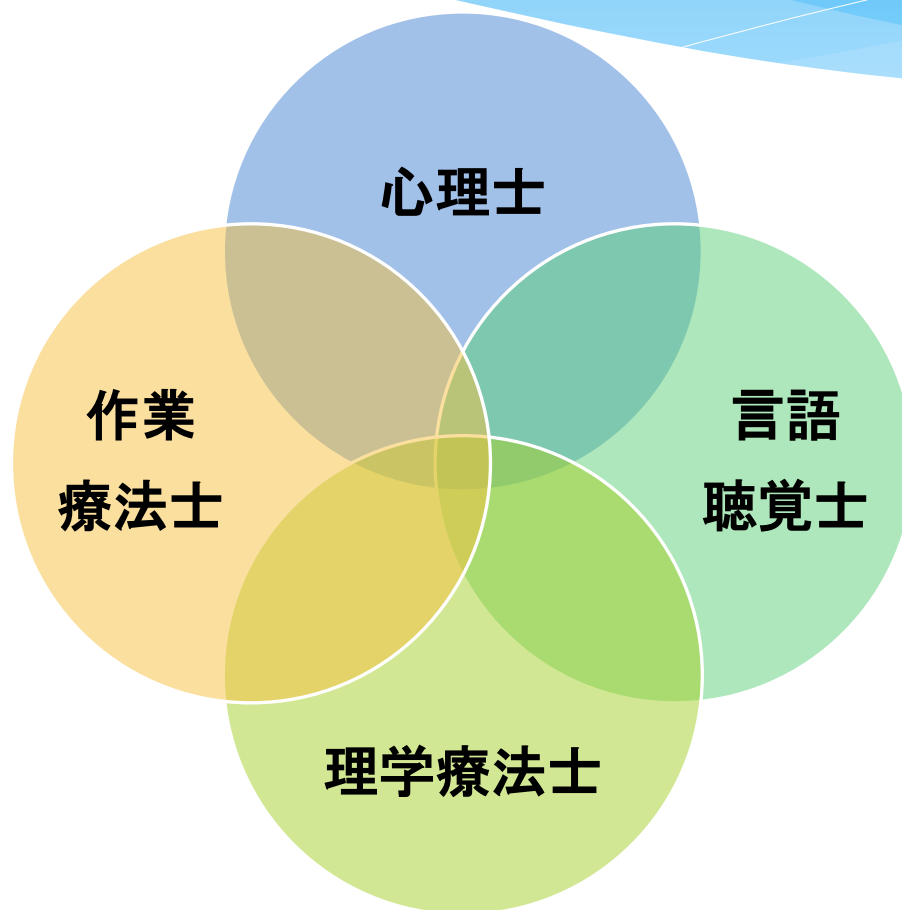
専門指導について

つつじ学園では、お子さんの発達を促すために、生活習慣の他に、心理士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士による個別での指導を実施しています。

各職員・保護者・クラス担当と共に三者で統一した目標を持ちながら、より良い関わりを見出していくことを目的としています。

お子さんとの関わり方や毎日の生活の中で気になること、困っていること等、子育てに関する悩みについて相談援助を行っています。

專門指導



心理士

お子さんの興味関心や特性に合わせた遊び・課題を通して、全体的な発達をみていきます。また、保護者の方と具体的な関わりについてご一緒に考えていくお手伝いをしていきます。

言語聴覚士（ST）

コミュニケーションには、聴く力、見る力、理解する力、運動、人との関係性等、様々な要素が相互的に関係しています。言語聴覚士は関わりを通して、各側面へのアプローチを行い、お子さんの持てる力を伸ばすようお手伝いをします。また、個々のお子さんに応じたコミュニケーションの方法を探っていきます。

理学療法士（PT）

お子さんの成長や発達に合わせて、「座り方や立ち上がり方」の姿勢や、寝た姿勢～寝返り～起き上がり～

四つ這い～座る～立つ～歩行（移動）等、基本的な身体の使い方や運動発達をすすめます。また、普段の生活や園での活動場面で活かしていけるように、様々な活動や遊びを通して、身体の使い方や姿勢、動作等の援助を行います。

作業療法士（OT）

遊びやお散歩など、様々な活動を通して手や身体の使い方を学んだり、椅子や道具を工夫して、活動しやすい環境を整えます。着替えや食事など日常生活動作の練習もしていきます。

大切にしていること (^_^♪

1. 環境を整える

*取り組むときは、目的に気持ちが向かいやすいように、使うものや周囲の環境を整理します。

例えば . . .

使うものだけを置く、布をかけて色々な物が見えないようにする、掲示物は少なくするなど。

*いつも上手くいかない場面も環境を見直してみると、成功体験に繋がることがあります。

例えば . . .

つまづくきっかけになるものを見えなくする、好きなもの（こと）をきっかけに誘うなど。

2. 見通しを持てるようにする

* 始まりと終わりの区切りをわかりやすく伝えることで、今は何をしているのか、次は何をするのかなど、理解しながら行動することに繋がります。

例えば・・・

「〇〇組のお友達、△△はこれでおしまい」とおしまいの声かけをする、終わりのジェスチャーを見せる、空の箱に片付ける、タイマーの使用、時計の針で終わりの時間を決めるなど。

* くり返し経験を重ねると、見通しをもって、主体的に物事に取り組む力に繋がります。

3. 伝え方の工夫をする

*伝えるタイミングを工夫することで、より伝わりやすくなります。

例えば・・・

【正面から】 【好きな話をしてから】 【身体に触れてから】
【名前を呼んでから】 【手を止めてから】 など。

*見てわかりやすく伝えます。言葉は抽象的で曖昧だったり、すぐに消えてしましますが、見て分かると、具体的でわかりやすく、消えません♪わかるやりとりを重ねることで、相手に気持ち向き、相手の思いをわかろうとする力に繋がります。

例えば・・・

実物、ジェスチャー、写真、絵を見せるなど

4. 得意なところに目を向ける

* どのお子さんも好きなことや得意なことがたくさんあります。褒めること、一緒に楽しむこと、周りの人が喜ぶことなどが、お子さんの喜びと“やってみよう”という原動力に繋がります。小さな成功を大切にしています。

例えば・・・

楽しめた、興味を持った、取り組もうとした、やってみたなど。

* 楽しんでいる場面などに、お子さんが取り組みやすいヒントがあることも多いです。

5. お子さんの目線で考える

- * お子さんの目線に立って考えると、お子さんの気持ちや困りが見えてきます。そして、上手にできる工夫も見つかります。
- * 目に見える行動にとらわれず、お子さんの気持ちを理解して、共感や寄り添うことを大切にしています。また、必要な関わりや工夫をすることで、人との信頼関係や安心感を持てるようにしています。

最後に・・・

- * 幼児期は、成長の基盤を作る大切な時期です。一人ひとりのお子さんが、それぞれのペースや個性を大切に、自分らしく、輝きながら過ごしていけるよう、ご家庭との連携も大切にしています。
- * お子さん一人ひとりの心の安定や、様々な挑戦、成功体験を見守り、応援し、「やってみたい！」「やってみよう！」「もう一回！」の気持ちを大切に育んでいきたいと思っています。
- * つつじ学園の内容や入園に関する事等、ご質問等がございましたら、つつじ学園までお気軽にご連絡ください。